

2021年5月1日
 発行/日本共産党市議会団地域版
 自宅/市川市須和田2-12-3
 fax 047-705-6018
 携帯 090-6310-3294
 メールアドレス
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

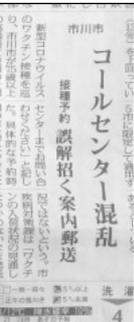
清水みな子

あおぞらメール No.136

2会派でコールセンター改善を申入れ ワクチン接種 予約は5月中旬から

市川市のワクチン接種をめぐり、コールセンターに
 つながらないなど大混乱となっています。新聞報道に
 よると、3日間で1万件を超えたといえます。4月19
 日、「コールセンター運営改善を求める申し入れ」を
 議員有志の会で行いました。

市川市のワクチン接種
 について、広報いちかわ
 では、4月第3週から高
 齢者施設入所者への接種
 が始まり、65歳以上の
 高齢者は5月中旬から。
 そして、予約開始時期は
 決まり次第お知らせしま
 す。となっていますが、
 高齢者の皆さんに送付さ
 れた一式によりますと、
 「4月中旬以降にコール
 センターにお問い合わせ
 ください」「下記の方法
 でワクチン接種の予約を
 してください」と、コー
 ルセンターの番号を大々
 的に記載したことから、
 多くの市民によるコー
 ルセンターへの予約電話が
 相次いだものです。
 読み手に誤解を生じさ
 せる広報活動が繰り返さ
 れた結果、終日つながり
 にくい状態となりました。
 コールセンターを開設し
 た3月22日以来、40人体制
 は一切補強しておらず、
 注目度の高いワクチン接
 種の予約について大々的
 に周知すれば電話が殺到
 することは容易に想像で
 きること、私たちは、
 人員の増強など適切な運
 営改善を求めました。



新聞各社も「市川市のコー
 ルセンター混乱」を報道



コロナ対策を市長 ・教育長に申入れ

「まん延防止等重点措置」
 が発令された4月20日、日
 本共産党市川浦安地区委員
 会と市川市議団は、村越市
 長と田中教育長に、「新型
 コロナウイルス感染症対策
 に対する申し入れ（7項目）」
 を行いました。浅野ふみ子
 衆議院千葉5区候補も同席
 しました。

- 1 「重点措置」の発令を受けて、対策本部として何が必要かを議論し、市民に情報発信すること
- 2 混乱しているワクチン接種について運営改善すること
- 3 高齢者などにきめ細やかな対応をすること
- 4 基礎疾患のある人は優先的にワクチン接種ができるように配慮すること
- 5 国や県に損失補償を行うよう要請すること
- 6 商店や中小企業に対する対策を講じること
- 7 困窮する若者や生理のある人に生理用品を無償配布すること

対応した大津副市長は、「ワクチン接種に関する混乱については早急に対応している。感染者情報が少ないことに対して、県に広域で情報公開を求めている」などと答えました。

村越市長と共産党の関係について

共産党市川浦安地区委員会の会議で「村越市長と共産党の関係について」、次のように確認されました。

市民と野党の共闘で村越市長が誕生して3年余が経った。この間、市長の公約であった公共施設の使用料引き下げや行徳野鳥観察舎の建設、不妊治療への補助の充実などについては評価するものであるが、一方で、福祉施設障がい者施設の民営化、公立保育園の全部を民営化する方針、小中一貫校の方針などは、歴

は対決 代市長の民営化路線を

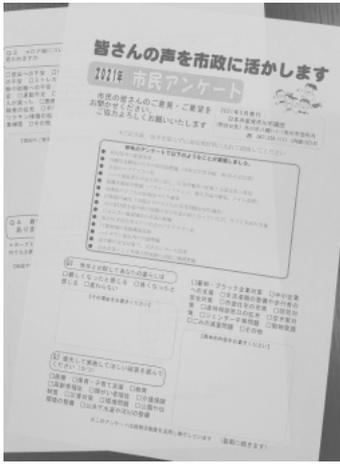
さらに加速するものである。市民の合意を全く無視した市政の方向が示された。その象徴的な現れが、テスラ社の電気自動車の導入、新庁舎への追加の階段設置、市長室へのシャワー室設置である。こうした問題が出てきたなかで、共産党は村越氏との間で交わした「定期的な懇談」を申入れてきたが、懇談は行われなかった。今年1月ようやく村越氏との懇談の場を持ったが、テスラ社の問題も含めて「自分は今でも正しいことをしたと思っている」と述べるなど反省の色もなく、も

や共産党は村越氏との関係を維持することは不可能と判断する。市民の方から党に対し、村越市政への苦情とともに党の姿勢についても問われており、村越氏とは対決する立場であることを共産党地区委員会の見解として表明することとする。党市議団は議会軽視、市民不在の市政運営とならないようチェック機能の役割を果たす。来年4月までには市長選が行われる。他党多会派や「市民の会」などの懇談を通じて、新たな候補者の擁立に向けて、幅広い共同を探ることとする。

●市川市を中核市にするかどうか、検討委員会が議論を進める

昨年9月議会で市長が「迅速なコロナ対応できないので自前の保健所を」と本市を中核市にすることをめざす方針を突然発表。市議会に検討委員会を作り議論を始めました。以前も中核市移行を検討しましたが、メリットに比べ負担が大きすぎることから移行しないという結論でした。保健所の職員約100名増が必要で、年間20数億円かかります。他の業務も市に移行するものと思われ、その経費はすべて市民の負担となります。資料を公開しますので、ご意見をお寄せください。

市民アンケートに協力を



毎年、ご協力をお願いしています「市民アンケート」に今年も取り組みます。昨年度は1000通を超える回答をいただき、道路改善要望を提出し、議会で取り上げ実現した事などを掲載しています。今回は、コロナ禍で、優先してほしい政策などお聞きしています。5月半ばから、皆さんへの配布を始めます。ご協力をお願いします。

無料法律相談

- ◎5月11日(火)
担当 守川幸男弁護士
- ◎6月8日(火)
担当 岩橋進吾弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告 4月》

☆4月17日 布川事件の桜井昌司さん「出版を祝う会」

「俺の上には空がある 広い空が」の出版を祝う会が開かれました。昨年2月に余命宣告を受けましたが、徹底した食事療法などで、元気な姿を見せ、ミニコンサートも行いました。



救援会支部のイベントにも何回も来ていただいています。6月25日は、国賠訴訟の高裁判決を迎えます。検察、警察、裁判官の罪は許さないと、全国のえん罪事件関係者と手を取り合い、訴えを続けています。市議会でも「再審法の改正」を求める請願を提出しましたが、残念ながら否決されました。

☆4月20日 市川市文化祭「69回市川市美術展覧会」

毎年、文化会館で開催していましたが、今年は改装中のため、市民会館(全日警ホール)で開催されました。浅野ふみ子衆議院千葉5区候補と、廣田市議と出かけました。この日は、絵画と彫刻の展示。どれも力作ばかりでした。



☆4月27日 中国分で「井戸端カフェ」

地域の皆さんと、いま疑問に思っていること、聞きたいこと、市政のことなど語り合う「井戸端カフェ」を開きました。「ワクチン接種について、予約など高齢者は心配している。分かりやすくしてほしい」「村越市長との関係はどうなっているのか」「市長のシャワー室はどうしたの?」「テスラ車の車はどうしたの?」など、疑問はつきません。今後も開いていきます。